

## 寒川町審議会等の公募委員に関するアンケート集計結果

調査対象：平成23～25年度に退任された公募委員および平成26年度現役の公募委員  
計21審議会（51名）

調査期間：平成26年10月15日～11月13日

回答者数：44名（86.3%）

※割合は、すべて小数点第二位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合があります。

【質問1】 現在所属している（以前所属した）審議会等の公募委員の募集を何で知りましたか。

回答	回答数	比率
1：広報さむかわ	16	32.7%
2：町ホームページ	5	10.2%
3：公共施設に設置されている募集チラシ	2	4.1%
4：他の町民の人から	4	8.2%
5：町職員から	18	36.7%
6：その他	4	8.2%
<b>具体的意見</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募委員の依頼があった。</li> <li>・担当職員から依頼。</li> <li>・現所属の委員から誘われた。</li> <li>・審議会に出席している方より話があった為。</li> <li>・所属団体からの要請により。</li> <li>・図書館のチラシ。</li> <li>・用事があって役場に行った時に募集チラシを見た。</li> <li>・自立支援協議会委員ですが、障害のある息子がいるため障がい者については関わりを持って行きたいと思っている。</li> <li>・障がい者支援活動従事者です。</li> </ul>		

※総回答数に対する割合です。

【質問2】 公募委員へ応募することを決めた理由は何ですか。

回答	回答数	比率
1：審議会等で審議する内容に興味があったため。	14	28.6%
2：町政に参画することに興味があったため。	14	28.6%
3：ぜひ応募して欲しいという声があったため。	21	42.9%

※総回答数に対する割合です。

【質問3】 審議会等の会議に出席した際に、自分の考えを発言する機会が十分にありましたか。

回答	回答数	比率
1：十分に発言できた。	9	20.5%
2：概ね発言できた。	21	47.7%
3：あまり発言できなかった。	9	20.5%
4：ほとんど発言できなかった。	5	11.4%

【質問4】公募委員に応募する方があまり多くない大きな理由についてどのようなことが考えられますか。(3つまで複数回答可)

回答	回答数	比率
1：周知自体が不十分	17	18.1%
2：周知にあたり内容の説明が不十分	19	20.2%
3：公募委員への応募（町政への参画）に興味がないから	22	23.4%
4：委員報酬等が少ない	0	
5：会議の開催日が平日だから	8	8.5%
6：会議の開催時間が昼間だから	3	3.2%
7：保育などの対応がないから	0	
8：意見を述べても反映されるか分からないから	21	22.3%
9：その他	3	3.2%
10：未回答	1	1.1%

#### 具体的意見

##### 【提案等】

- ・（3について）役場（行政）に任せておけばよいという「人まかせ」の風土があるのではないか。（8について）公募委員の意見がどのように活かされたかの情報がない。このアンケートの結果・意見を「広報さむかわ」に記事として町民に知らせることが応募者を多くする方法（手立て）のひとつである。基礎知識を理解していないと発言できない。
- ・（8について）意見が反映されたことを周知する工夫がほしい。町政参画の意識が高まるのでは。
- ・（1、町民について）ア：これからは地方のことは地方自治体で決め、町民が参加し町と町民の協働の町づくりが必要という考えが町民にまだ浸透しておらず同時に、町民の町政に参画する意識が薄いと感じています。従来同様行政に任せ放して、陰で行政の文句言ってる町民が多く見受けられます。この点、昨年あたりから町の広報で自治基本条例や協働の町づくりの必要性について町民に理解を深める様配慮した事は良かったと思います。今後は協働のまちづくりについて、専門家を呼んで講演会を開催するなり、生涯学習の一環として町民への学習テーマとして継続的にとりあげることが肝要と考えます。（私は自治基本条例に際して町が講演会（講師 磯崎先生）を開催し、これからは町民もまちづくりに参加し協働によるまちづくりが必要になりますというお話を聞き、これがきっかけで公募委員に応募しました。）又、町民同志が気軽に町政について意見を交換できるワークショップを町が行うことにより、町民の町政へ参加意識を高めることも有効と思います。
- （2、町（行政）について）ア：広報等で公募委員の応募を呼びかけるだけでなく、もう一歩つっこんで、行政として町民の公募委員の意見を聞く必要性を再考して欲しいと思います。寒川町はいろいろ経験を積んだ人が沢山おり、そういう人の意見をヒントとして行政を進めれば寒川町はもっとにぎわいある町になると思います。町政に対するあなたの意見を述べて欲しいので応募して欲しいとの考えから脱皮して、行政はあなたの経験に基づく町政への意見や要望を必要としている、役立てたいとの発想に切り替えて欲しいと思います。現状自治条例で決まっているので公募しているとの感もあります。
- イ：一部町職員にも協働の町づくりの考えが浸透していないことを感じました。職員への徹底を図って欲しいと思います。応募者を増やすには町長が就任依頼町民とまちづくり懇談会を行っているそうですが、常日頃から職員が積極的に町民とイベント、生涯学習、講演会等で今まで以上に協力しあう体制を築いていけば、町民も自然と町政への参画もしやすくなると思います。
- ・〇〇審議会等の名称が堅苦しい。もっとわかり易く、親しみのある名称を考えてはいかがか。（敷居が高い）

- ・各部門の公募は一本化し、催し物等の機会にも積極的に募集しては良いのではないのでしょうか。サラリーマンの為に、土日や夜間開催も考えては。

【感想等】

- ・一般町民には内容が難しいのでは。
- ・自分の勉強不足でもあるが、審議会等の公募委員制度を知らなかった。
- ・審議会等が古参の議員等により占められているという認識が広まっている。
- ・公募ということに、馴染みが薄い。
- ・町政への参画が身近でない。周囲に応募した人もおらず、経験談なども聞いたことがない話題にならない。応募のための作文はハードルが高い。
- ・町民がもっと行政に対しての参画意識を持たない限り、この問題は解決しないと思う。既に行政が何かをしてくれるという、古い考えから脱却し、自分たちのことは自分で考え、最良の町を実現するという自覚をひとりひとりの住民がはっきりと持たなければなりません。
- ・1 緩和はされたが、条件が当て職に比べきびしい。委員報酬に差がありすぎる。(1回8700円や1年間記念品とか)寒川町町民の層がうすい。
- ・上記8についてと、会議での委員提案方法(上程)ができるのか。委員権限の範囲など参加することへのメリットなどが、わかりづらいのでは。
- ・一番は公募委員への応募に興味がないのと面倒なのは嫌だから理由の大きな物だと思います。
- ・自分の経験、識見が審議会で生かせそうにないから(審議会に参加するにあたり専門的な知識に乏しいから)
- ・③番が一番多いのではないのでしょうか。自分には関係ないと思っているのでは? 声を出すことが大事なのですがね。残念です。
- ・委員である意義が明確でない。

※総回答数に対する割合です。

【質問5】公募委員をされていること(していたこと)を、知人や友人などに教えたことがありますか。

回答	回答数	比率
1:ある	27	61.4%
2:ない	16	36.4%
3:未回答	1	2.3%

【質問6】公募委員への応募を知人や友人などに勧めたことはありますか。

回答	回答数	比率
1:ある	11	25%
2:ない	32	72.7%
3:未回答	1	2.3%

【質問7】今後、再び町の審議会等の公募委員に応募したいと思いますか。

回答	回答数	比率
1：積極的に応募したいと思う。	5	11.4%
2：内容により応募をしたいと思う。	29	65.9%
3：応募するつもりはない。	7	15.9%
4：未回答	3	6.8%

【質問8】これまで、別の審議会等の公募委員に応募されたことがありますか。

回答	回答数	比率
1：ある	9	20.5%
2：ない	34	77.3%
3：未回答	1	2.3%

【質問9】平成25年9月までは、同一審議会で2期連続の公募委員にはなれないことや、退任後、同じ審議会の公募委員になるには5年の経過が必要ということが規則により定められていました。現在は応募、選考により連続した2期でも公募委員になることができることや、退任後2年を経過すれば、同じ審議会等の公募委員になることができることをご存じですか。

回答	回答数	比率
1：知っている	8	18.2%
2：知らなかった	35	79.5%
3：未回答	1	2.3%

【質問10】公募委員を務められていることについての感想など自由にお書き下さい。

#### 感想等

##### 【提案等】

- ・質問4の理由に記入しましたが、担当が参考にすることは当然ですがやはりアンケート結果を「広報さむかわ」に情報公開することこそが「人まかせ」の意識を変えることになると思う。・委員を長くされている方と初めての公募者一人だけで、同じ土俵では意見が言えない。作文提出方法でなく、年代毎に先着3名とするぐらいにやってみるとよい。(例え～40才まで、～50才まで、～70才まで各1人ずつの3名)公募委員以外の委員も何期も同一人物がしないようにするべきです。
- ・運動する事、食べる事、楽しく参加する事への期待は、病気やケガをしない様にするために誰もが望む事です。また、情報が多様化する中でも”知る”事のみ”できる様にする工夫”は大きな違いと様々な結果につながっています。1人でも多くの方が”参加したい”と思える工夫は、発信のみではできません。効果の期待と継続する力が仲間づくりしても、常に情報を届ける様にまた、キーパーソンの方へのサポートが大切になってくると思います。リーダー研修しても負担が多くなればやりたくない、まとめ係でもその場限りでとなりがちです。仕組みがあっても活用できないおまかせ依存かあるからだと、町職員の方がリーダーと一緒にもっとやってほしいです。
- ・町政に直接携わっている職員の方々や、町の社会教育関係の有識者とお会いすることができ、お考えや活動についてふれられて、とても良かった。少しでも町の役に立てたかと思

い嬉しかった。直接自分の意見を担当の方々の前で述べられて良かった。(提案) 応募者が少ないことへの改善策→質問 10 のような、過去の公募委員の生の声を募集のお知らせと共にのせておくとし身に感じられ、自分もやってみようかと思う人が多くなるのではないのでしょうか。周知の仕方をもっとやわらかく体温のあるものにしては、チラシにもっとイラストや色彩を入れる。字の書体を明朝体でなく、ゴシック体など、やわらかいものにするなど。ありがとうございました。

- 会議が報告や連絡事項が多く形式的で硬直化している感がある。将来を見据えた議論(意見交換)をすることにより会議は活性化するのではないか。
- 乏しい財源を使うことを認められた施策とそれを進めるための事業が遊離していると感じた。必要か責任部分で検討し事業化する必要があるのでは。委員の力量にもよるが異なる意見に対して審議する時間ももっとほしかった。
- 関係団体からの委員でなく、公募で広く募り、関心のある人が参画していくことはとても意義があると思います。複数の会議の委員経験がありますが、どれも公募委員の意見も同様に取り入れていただきました。職員や、関係している団体の方が積極的に関心のありそうな人達に応募してもらえるように、チラシなども作って、個別にPRをすべきだと思います。
- 質問(4)の回答3には、意識、価値観、言葉の表現、伝達が足りないと考えます。
- 私の応募した審議会は公募の委員が1人で、他は偉い方々ばかりでびびって、発言出来なかった。こんな事言ったら笑われるかなど考えてしまった。全体に審議しようという、やる気も感じられず、一度も発言しない方も多く、報酬は必要ないと思った。応募にあたり、論文などと言わないで、レベルを下げ、無報酬で委員になりたい人は誰でもいいのでは?町の言うとおりの委員はいない。あて職はやめてほしい。めざせ、全員公募委員!!
- 1. 一般の委員の発言が余りにも少ない。(行政の追認機関?) 2. 公募委員の枠の拡大など見直しの時期に来ていると思うが、いかがなものか。
- (1) 寒川町の公募委員を四度経験することにより、町について多くの事を知ることができ、町や委員の方々から寒川町について種々の考えを学ぶことができ有意義でした。又、審議会等で知り合った人と審議会等委員をやめてからも話す機会があるのでその点も良かったと思っています。審議会では自分の意見を発言する機会を得、少しは寒川町がよくなる方向に役立てたと思っています。(2) 審議会等について漠然と審議会等を開いていることもありました。事務局は審議会等で何を審議して欲しいのか又、何を決めて欲しいのか事前に委員に伝え又、それに沿って会議を進めて欲しいと思います。審議会の進め方として審議会等の資料は1週間前に委員に配布し、当日の審議事項を知らせ、委員は事前に考えをまとめ、会に意見を述べる様に徹底して欲しいと思います。現状当日会議資料を配付し討議することが多々あり、実りある成果が出ないまま終了することがありました。この様な会議では公募委員のやる気がそがれ、これも応募者が減少することに繋がると考えます。(3) 団体出向の委員についてですが、欠席する委員もおり、団体から推薦されたので仕方なく会に出席した人もおり、事前検討もせずその場かぎりの思いつきの意見をのべる委員を多く見かけました。団体だけにたよるのでなく、町は審議会等に適切だと思う人に委員を依頼するののも一つの方法だと思います。(県の公募委員を二度経験しましたが、団体からの委員と県から依頼された同数に近い委員と公募委員より構成されていました。)
- ①あて職→各種団体からの推薦によるもの、あて職ではないが専門家(?)等々役場が選ぶ者で長すぎる人が多い。交代させるべき!! ②一つの審議会しかなれないという枠を拡大すべき。(同時に2~3は構わないのではないか)
- 役場の職員の作成した内容がそのまま通っていくことが多い。(寒川町の過去からの経過が引きずられているきらいがある) 町の過去からの継続的な内容でなく、近隣の市町の内容等も紹介し比較検証審議する必要がある。(余りに過去からの推移にとらわれすぎて形式的な審議会になっている。) 形骸化している。

- ・役場の職員の方々の一所懸命さと能力には甚だ感心しておりますが、役場の各部署や各課の横断的な取り組みに対して消極的な感があります。マトリック組織までとは求めませんが、部や課の連携は今後「小さな役場」を見越すと必須であると考えますのでこのような連携を考える組織が役場内に必要であると思います。

#### 【感想等】

- ・公募委員を良く知らなかったので、この様な事が行われている事を知る事が出来て良かったと思いました。
- ・決定した事の審議であってはならない！！ガス抜きと言われて久しいが、馬鹿馬鹿しいセシモニーの様に感じています。
- ・できるだけ公募委員として今後も積極的に参加して行きたい。
- ・職員の本質的な態度に敬服します。大部分の住民のための審議等であり利益団体代表への傾倒には注意されたい。
- ・自分の考えや意見が何らかの役に立ち、町民の生活にされれば良いと思うが、会議のスケジュールに合わせる事ができない事があり、十分に参加できていない。残念である。
- ・審議内容が身近な場合で無く自由に発言する機会が少なくその場に公聴していると感じていました。
- ・現在務めている公募委員の事については少しは理解出来るようになりました。
- ・内容が難しくあまり発言ができなかったのですが、また機会がありましたら務めさせていただきたいと思います。
- ・私事で途中でやめてしまったので感想までもてませんのでおゆるし下さい。
- ・審議会の中で専門部門の方が発言されていてとても頼もしいと思いました。自分自身積極的に参加したのではないので熱心にやって下さる方が居るととても心強く感じました。福祉関係障害者等の内容は良く取り組んでいると思います。担当の職員さんもお苦労をかけているなあと思っています。ありがとうございます。
- ・自分が担当した審議会は年2回の参加であった。もう少し回数を増やすわけにはいかないのでしょうか。折角の機会ですので、もう少し詳細に、あるいは進捗を見たいと思っても、その機会が少ない。
- ・年に数回の会議では町政への理解は得られない。と思います。が、審議会もなくてはならないものとなりました。税金を無駄のないように使って頂きたいです。
- ・公募委員を務めている事で、他の町政全体、寒川町全体に興味と問題意識をより深められています。現在の審議会ではより深い町民としての問題意識を発言や審議に生かせると感じています。可能であれば2期目の委員を努める様努力します。
- ・会議体の担当案件によっては、町議会より重い権限を与えられることもあり、(議会の手の届かないところ)より慎重審議が必要と感じました。
- ・今年は初めてなので様子がわかりませんでした。次年度は積極的に発言しようと思います。
- ・町のシステムが少し理解できて良かったと思います。素人目線で意見が言えるかなと思っています。
- ・行政の方向性や現在の町の行政状況等把握出来た。今後重要なのは無関心屋をいかに取り込むかだと思う。
- ・難しいとは思いますが、一段ずつ階段を昇っていくような推進が出来ると良いと思う。
- ・自分の言動に対し、責任を持たなければならないので、種々の事項で不明なことを自主的に勉強するようになった。これからの時代は、行政に甘えるのではなく町民意識を磨き澄し、自分達のことはできる限り自分達で解決するという意識を周りの人々に伝えたい。
- ・寒川町は30年以上住んでいる処であり、自分の町として少しでもより良い町にしたい。公募に積極的に参加し、自分の思うところを述べる機会が持てることは意味があると思います。
- ・一町民の声は町には届かない。委員になって、初めて聞いてもらえるということがわかりました。今回出した私の提議がどこまで遂行されるか、それを見届けたいと思います。

- 当時、応募をさせて頂き、行政が計画を立てそれを審議するのが委員の仕事なのか？と大変疑問に感じました。また、財政難という話を行政側が言われましたが、本当に必要な計画を進めなければならないのですから努力する方向性を示していただきたかった。

